



令和6年1月26日 鈴鹿市立稲生幼稚園



No.7

あかるく たのしい いのうようちえん



人形劇楽しかったね

12月12日(火)に、愛あい人形劇場の人形劇を鑑賞しました。病気になったおじいさんにパンを作って届けると、おじいさんが元気になるというお話でした。病気のおじいさんが出てくると「大丈夫かなあ？」と心配そうな顔をしていた子ども達でしたが、パンを食べると「よかった」とうれしそうな表情になり、登場人物の気持ちに寄り添いながら物語を楽しんでいました。物語に感情移入して楽しむ姿から、子ども達の心の育ちを感じました。

素敵な人形劇を届けてくださった愛あい人形劇場の皆さん、どうもありがとうございました。



サンタさんありがとう

12月15日(金)は、クリスマス会にサンタさんがきてくれました。子ども達にプレゼントを渡した後に、サンタさんと写真を撮り、子ども達から歌のプレゼントをしました。

すると、今度はサンタさんから子ども達に「ホワイトクリスマス」という英語の歌をプレゼントしてもらいました。サンタさんの素敵な英語の歌声とメロディーにすっかり魅了され、子ども達はじっと歌声に耳を傾けていました。

稲生幼稚園の園児のために、お菓子を用意してくださった稲生農地水環境を守る会の皆様、本当にありがとうございました。



令和6年 新しい年を迎えました



12月に「十二支の歌」を歌っていた子ども達は、十二支の動物の名前を「ね・うし・とら・う……」と順番に言えるようになっていましたので、1月9日（火）の始業式の日、久々に顔を合わせた友達

と「うさぎ年の次だから、今年は辰年！」「辰と龍は同じ？」と干支の話をしていました。

また、2月16日（金）の生活発表会で劇をするのに、どの話にするかを12月から考えてきて、「十二支のはなし」か「浦島太郎」の2つに絞られていました。1月に入ってからどちらにするかを話し合うものの、ちょうど同じ人数で意見が分かれて、1週間ほど毎日話し合いをしました。

「十二支の話なら、ちょうど14人で役の数とピッタリになる」「虎がいい」「辰がやりたい」「でも、一人で言うのはちょっと緊張する」「浦島太郎なら1人で言わなくてもできる」「でも、おじいさんになるのはちょっとなあ」「カメ役がいいなあ」「カメばっかしで、浦島太郎がおらんやん」「カメいじめるのいやや」など、自分なりの思いや意見をみんなで出し合いながら、毎日話し合いを続けました。そして、ようやく「浦島太郎」の劇に決まりました。今は、劇の役を決めて、練習と小物作りをしています。

2年間の幼稚園生活で培った子ども達の伝える力を生かせるように、決められたものを決められた通りに行くことより、みんなで一つの目標に向かって力を合わせて作り上げていく過程を大事にして、生活発表会の日を迎えたいと思います。

冬の遊びの様子

